



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年1月25日

上場会社名 信越ポリマー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7970 URL <http://www.shinpoly.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小野 義昭
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部経理部長 (氏名) 平澤 秀明 (TEL) 03(5289)3716
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績 (平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	59,290	7.4	5,398	19.6	5,641	18.3	4,154	23.4
29年3月期第3四半期	55,190	△3.1	4,515	55.3	4,768	36.4	3,366	43.4

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 4,415百万円(—%) 29年3月期第3四半期 △1,627百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	50.58	50.48
29年3月期第3四半期	41.07	41.00

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	102,207	76,368	74.6
29年3月期	96,061	72,890	75.8

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 76,240百万円 29年3月期 72,839百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
30年3月期	—	6.00	—		
30年3月期(予想)				6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	76,000	2.7	6,500	17.9	6,800	14.6	5,200	22.9	63.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	30年3月期3Q	82,623,376株	29年3月期	82,623,376株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	489,072株	29年3月期	513,092株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	30年3月期3Q	82,141,037株	29年3月期3Q	81,949,840株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、先進国を中心に緩やかな景気回復基調が続きました。米国においては、現政権の政策に不透明感があるものの、個人消費は底堅く推移し、企業収益も改善するなど景気回復が続き、欧州においても金融緩和策や新興国景気の持ち直しなどが下支えとなり、緩やかな回復傾向にありました。また、アジアにおいては、中国では経済政策の効果もあり景気減速から安定化に向かい、ASEAN諸国の景気も回復傾向にありました。

日本経済は、円安基調が定着し、企業収益の改善や、堅調な雇用・所得環境を背景に個人消費も底堅く緩やかな景気回復基調が続きました。

当社グループ関連の事業環境につきましては、半導体業界の活況が継続し、自動車関連分野の需要も順調に推移しました。

このような状況のもと、当社グループは、国内・海外において主力製品及び新規事業製品の拡販に注力した営業活動を展開してまいりました。また、経営資源を集約した組織運営を目的として、期初に国内生産子会社4社の吸収合併を実行し、生産能力増強などの設備投資も積極的に推し進めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は592億90百万円（前年同期比7.4%増）、営業利益は53億98百万円（前年同期比19.6%増）、経常利益は56億41百万円（前年同期比18.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は41億54百万円（前年同期比23.4%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①電子デバイス事業

当事業では、自動車関連入力デバイスを中心に順調な出荷が続き、全体として売上げは前年を上回り、大きく利益も伸びました。

主力の入力デバイスは、自動車電装スイッチの種類や搭載車種の増加により、キースイッチの出荷が伸びて、タッチスイッチも安定的に推移しました。一方、薄型ノートパソコン用タッチパッドは、新機種獲得に時間を要し低迷しました。ディスプレイ関連製品は、液晶接続用コネクターの販売が回復傾向にありましたが、視野角制御フィルム（VCF）がATM需要低迷により振るいませんでした。コンポーネント関連製品は、主力の電子部品検査用コネクターがスマートフォン用部品の生産調整の影響を受けましたが、その他の部品用途に拡販できました。

この結果、当事業の売上高は147億9百万円（前年同期比5.1%増）、営業利益は11億77百万円（前年同期比51.0%増）となりました。

②精密成形品事業

当事業では、半導体関連容器の出荷が好調に推移し、全体として売上げは前年を上回り、利益も伸びました。

半導体関連容器は、半導体業界の旺盛な需要を背景に主力の300mmウェハー用製品だけでなく小口径用製品の出荷も好調に推移し、売上げを順調に伸ばしました。OA機器用部品は、主力のレーザープリンター用現像ローラの出荷が回復に向かいましたが、売上げは前年並みでした。キャリアテープ関連製品は、自動車向け半導体を始め、すべての電子部品市場の活況に支えられて堅調な売上げでした。シリコーンゴム成形品は、主力の医療関連製品が堅調に推移しましたが、売上げは伸びませんでした。

この結果、当事業の売上高は254億46百万円（前年同期比10.3%増）、営業利益は38億38百万円（前年同期比14.8%増）となりました。

③住環境・生活資材事業

当事業では、主要製品の市場環境が非常に厳しい中、価格改定や効率化に努める一方、新規事業製品の拡販により、全体として売上げは前年を上回り、利益は大幅に伸びました。

ラッピングフィルムなどの包装資材関連製品は、食品スーパーマーケット向け、外食産業向けの出荷が伸びず、価格改定も厳しく、売上げは横ばいでした。塩ビパイプ関連製品は、価格改定を推し進めながら、受注量を確保して、売上げは前年を上回りました。機能性コンパウンドは、自動車用製品とFARロボットケーブル用製品が好調に推移し、売上げを大きく伸ばしました。外装材関連製品は、市場低迷の中、新規取引先開拓や製品ラインナップ拡充が奏功し、売上げを伸ばしました。

この結果、当事業の売上高は140億82百万円（前年同期比8.2%増）、営業利益は2億48百万円（前年同期比

71.7%増)となりました。

④その他

工事関連では、首都圏を中心に商業施設の新築・改装物件、公共施設の内装物件の安定的な受注に努めましたが、全体として、売上げは前年をわずかに下回りました。

この結果、その他の売上高は50億50百万円（前年同期比1.0%減）、営業利益は1億34百万円（前年同期比45.8%減）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年7月24日に公表いたしました平成30年3月期の通期連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	40,236	42,677
受取手形及び売掛金	18,903	19,905
商品及び製品	5,520	6,008
仕掛品	1,147	1,281
原材料及び貯蔵品	2,391	2,696
未収入金	1,202	1,297
繰延税金資産	1,042	893
その他	3,094	4,190
貸倒引当金	△360	△389
流動資産合計	73,178	78,561
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,781	6,789
機械装置及び運搬具(純額)	4,564	5,354
土地	6,471	6,540
建設仮勘定	1,003	865
その他(純額)	1,028	1,261
有形固定資産合計	19,850	20,812
無形固定資産		
ソフトウェア	209	106
その他	95	79
無形固定資産合計	305	185
投資その他の資産		
投資有価証券	1,184	1,333
繰延税金資産	450	319
その他	1,092	995
投資その他の資産合計	2,727	2,648
固定資産合計	22,882	23,646
資産合計	96,061	102,207

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,080	14,259
短期借入金	0	0
未払金	2,737	3,223
未払法人税等	966	969
未払費用	2,641	2,471
賞与引当金	1,167	825
役員賞与引当金	46	29
その他	987	2,118
流動負債合計	21,628	23,898
固定負債		
長期借入金	0	—
退職給付に係る負債	1,231	1,672
その他	310	268
固定負債合計	1,542	1,941
負債合計	23,171	25,839
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,635	11,635
資本剰余金	10,718	10,718
利益剰余金	51,970	55,103
自己株式	△360	△352
株主資本合計	73,964	77,105
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	436	537
為替換算調整勘定	△1,560	△1,401
退職給付に係る調整累計額	△1	△1
その他の包括利益累計額合計	△1,125	△865
新株予約権	51	127
純資産合計	72,890	76,368
負債純資産合計	96,061	102,207

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	55,190	59,290
売上原価	38,068	40,795
売上総利益	17,121	18,494
販売費及び一般管理費	12,606	13,095
営業利益	4,515	5,398
営業外収益		
受取利息	156	197
為替差益	68	43
その他	74	72
営業外収益合計	299	314
営業外費用		
支払利息	19	18
固定資産除却損	16	51
その他	10	1
営業外費用合計	46	71
経常利益	4,768	5,641
特別損失		
子会社清算損	59	—
特別損失合計	59	—
税金等調整前四半期純利益	4,709	5,641
法人税、住民税及び事業税	1,375	1,301
法人税等調整額	△31	185
法人税等合計	1,343	1,486
四半期純利益	3,366	4,154
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,366	4,154

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	3,366	4,154
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	103	101
為替換算調整勘定	△5,099	159
退職給付に係る調整額	2	0
その他の包括利益合計	△4,993	260
四半期包括利益	△1,627	4,415
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,627	4,415

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額
	電子デバイス (注)1	精密成形品	住環境・ 生活資材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,994	23,079	13,013	50,087	5,103	55,190
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	13,994	23,079	13,013	50,087	5,103	55,190
セグメント利益(営業利益)	779	3,342	144	4,266	248	4,515

(注)1 電子デバイス事業において、在外子会社「蘇州信越聚合有限公司」における減損損失を計上しております。

2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工事関連事業などを含んでおりません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	電子デバイス	精密成形品	住環境・ 生活資材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	14,709	25,446	14,082	54,239	5,050	59,290
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	14,709	25,446	14,082	54,239	5,050	59,290
セグメント利益(営業利益)	1,177	3,838	248	5,264	134	5,398

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工事関連事業などを含んでおります。